

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	子宮体癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の治療成績に関する後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	子宮体癌手術において傍大動脈リンパ節郭清術は進行期決定や再発のリスク評価に必要な術式です。子宮体癌に対する低侵襲手術として腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術が2020年4月に保険収載となりました。開腹手術と比較して、腹腔鏡手術は創部が小さく、術後も早期に退院可能なため患者さんへの負担が少ない術式として期待されています。しかし国内では臨床に導入され期間が短く、安全性や治療成績の報告は少ないことが現状で、今後のデータの蓄積が望まれます。当院で傍大動脈リンパ節郭清術を受けた患者さんの診療記録を振り返りデータを解析することで手術の安全性や治療成績について評価を行い、今後の最適な治療へ向けた検証を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	子宮体癌の患者さんで、2020年4月1日～2025年3月31日の間に東京慈恵会医科大学産婦人科または国立がん研究センター東病院にて開腹もしくは腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術を含む治療を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	生年月、既往歴、体重、疾患名、手術名、手術時間、出血量、摘出リンパ節総数、周術期合併症、輸血の有無、治療内容、入院期間、血液検査結果、画像検査所見、術中写真、術中動画、培養検査結果、病理組織	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本 愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	国立がん研究センター東病院 産婦人科 田部 宏（機関の長：土井 俊彦）	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、各施設で患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID あるいは番号をつけた上で、研究代表機関に集約されます。なお、共同研究機関から本学には、以下の方法で情報が提供されます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2025 年 9 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：教授 岡本愛光（おかもと あいこう）、窓口担当：助教 澤田 杏子（さわだ ももこ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。